

■地域経済振興懇話会

「就労環境の改善」を...

【主な発言要旨】

町内大手企業（常備従業員数50人以上）の経営者と商工会役員とが町理事者と坂城町の経済振興について語り合う「地域経済振興懇話会」が去る十一月一日、中心市街地コミュニティセンターで開かれました。

懇談は中沢町長からの町の新しい施策概要・展開構想等の講話を基に、鈴木会長が座長となって進められましたが、大手企業間の景気回復感を背景として今回は、企業経営や就労環境の改善策、人材の確保・定着に関する町への要望等論議に終始しました。



①就労環境改善等インフラ整備の促進（ア、就業者（雇用）定着のためのR18号出動時の慢性的交通渋滞の早期解消、イ、町外通勤者等への定住促進用住宅や宅地等の確保）  
ウ、都市圏在住団塊世代技術者のＩターン就業希望者向け畑等耕作地付宅地の幹線エ、工場新設・拡充用地の確保（インフラ整備）計画への地域の子供達の夢などの取入れ反映  
②中心市街地活性化に向けての町内幹線道路拡幅等アクセスの早期改善  
③定番土産品・特産品類の共同開発システムの早期促進

【出席者（敬称略）】

（大手企業）アルプスツール・金井一成、ウインテック・清水正行、カヤマ・小宮山俊夫、栗林製作所・栗林邦夫、ケーエムケー・川島隆教、交和物産・西澤秀一、坂城運輸・関戸啓司、竹内製作所・竹内明雄、力石化工・佐藤洋子、都筑製作所・木村敏夫、ディリーフーズ・国広義信、西澤

電機計器製作所・西澤泰輔、宮後工業・宮後睦雄、ミヤリサン製菓・宮入伯允、柳沢精機製作所・柳沢次夫、ロビニア・館内英雄（十六名）  
（坂城町）中沢町長、柳澤副町長、長谷川教育長、宮崎産業振興課長、植木テクノセンター長、塚田テクノハート事務局長（六名）  
（商工会）鈴木会長以下役員二十一名（うち、関戸副会長・小宮山理事二名は大手企業出席者として重複）

総務産業委員との懇談会

活力向上に向けて

坂城町産業の振興策を探るための議会・総務産業委員と商工会役員との懇談会が十一月二十八日、商工会館で開かれました。

懇談は、入日副委員長ほか四名の委員と池田議長が出席の下、当会の白井・商業、吉川・工業、高橋・建設各部長が発表する部会ごとに集約した「産業振興について思うこと、考えること」を糸口に「商工会が提示した」思うこと、考えること」の要旨  
①観光（鉄の展示館等周遊観

新春経済講演会

常に

チャレンジジャーであれ

光など）による町の活性化対策としての大型バス等アクセスの整備について  
②工業観光（製造先端技術等視察ツアー）の実現による商業振興策について  
③「おしほりうどん」ブランド化と定番土産品等特産物創出のための官民共同開発体制の整備促進について  
【以上、商業部会】  
④慢性的交通渋滞の解消など就労環境改善のための基盤整備促進について（ア、千曲市磯部信号・苧屋原間・上田市境・鼠橋通り間の堤防道路化、イ、苧屋原ミニパークから県道入口間の通勤（時間限定）専用レーン化、ウ、町外労働者向け定住用宅地の確保と幹線）  
○下水道の整備促進（特にテクノ坂城工業団地（域）等就労環境の改善による雇用・労働関係の安定化策）  
【以上、工業部会】  
⑥下水道事業の積極的推進による町内建設業者の育成支援について  
⑦指名競争入札の条件見直し（町外大手営業所の取扱い）と分離分割発注方式導入による町内業者の受注拡大等について【以上、建設部会】

恒例の坂城町・新春経済講演会が佐久市のマイクロストーン株式会社（主にモーショセンサー、センサーアプリケーション、ファンタジー商品、を自社開発・生産・販売）代表取締役社長、白鳥典彦氏を迎え、去る1月16日、開かれました。  
白鳥社長には、自らの起業体験を大変わかりやすく、またユーモアを交えてお話しいただきました。実体験を基にした経営の本質に触れたお話は、製造業の会員のみならず、他業種の方にとっても大変貴重なものとなりました。  
商工会では今後も、実りのある講演会を随時計画して参ります。

